
デジタル変革時代の ICTグローバル戦略懇談会

2018年12月12日

岩田一政

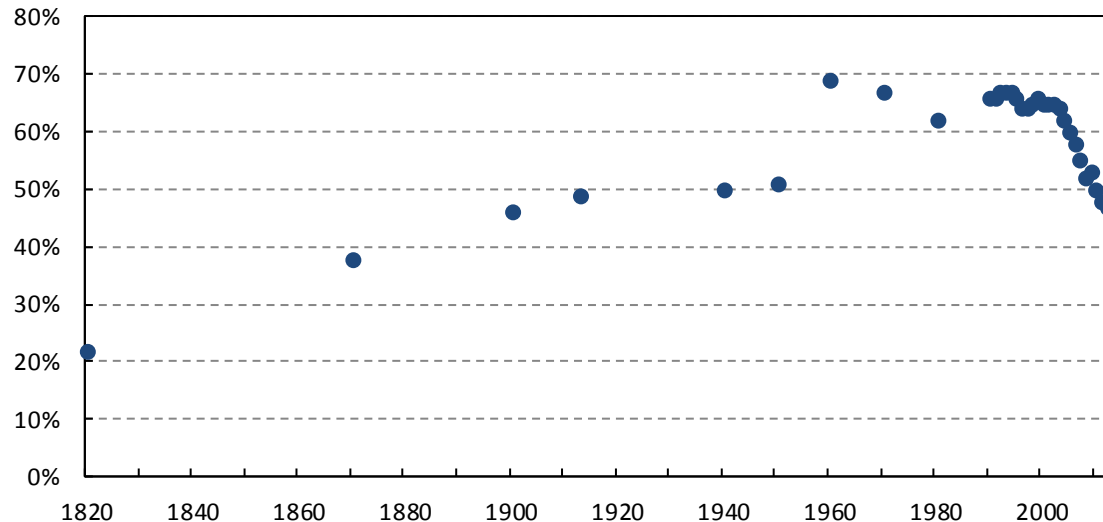
日本経済研究センター理事長



Japan Center for Economic Research

「大いなる収斂」から「グローバル時代の時代」へ

図： 世界GDPに占めるG7の割合

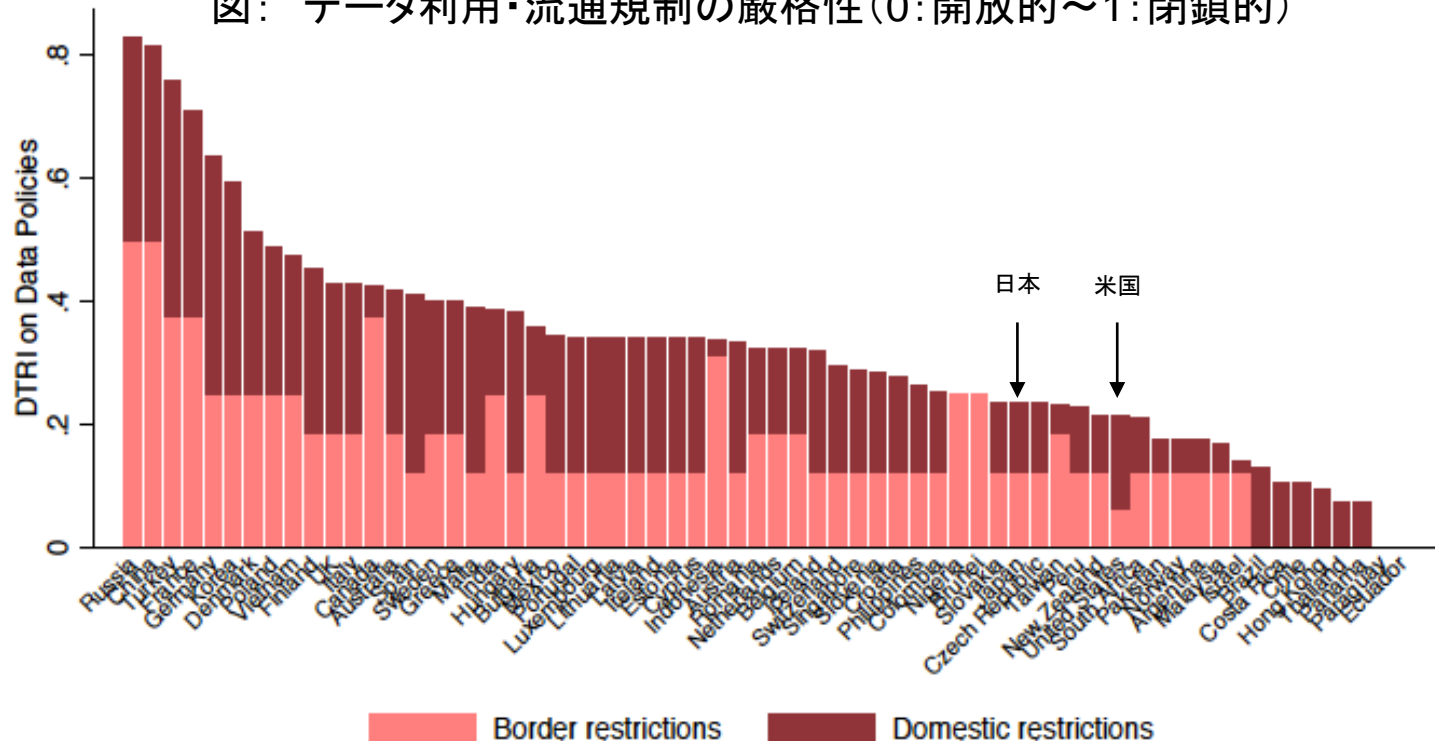


(資料) Richard Baldwin (2016) “The Great Convergence: Information Technology and the New Globalization”

- 19世紀から1990年頃にかけて、生産活動はG7への集中が進んだ
- しかしコミュニケーションコストの低下により1990年前後にトレンドは反転し、「大いなる収斂」の時代に
- さらに人と人とが直接対面するコストも低下し、「テレマイグレーション」が可能になる

データ流通規制にはトレードオフも

図： データ利用・流通規制の厳格性 (0: 開放的～1: 閉鎖的)

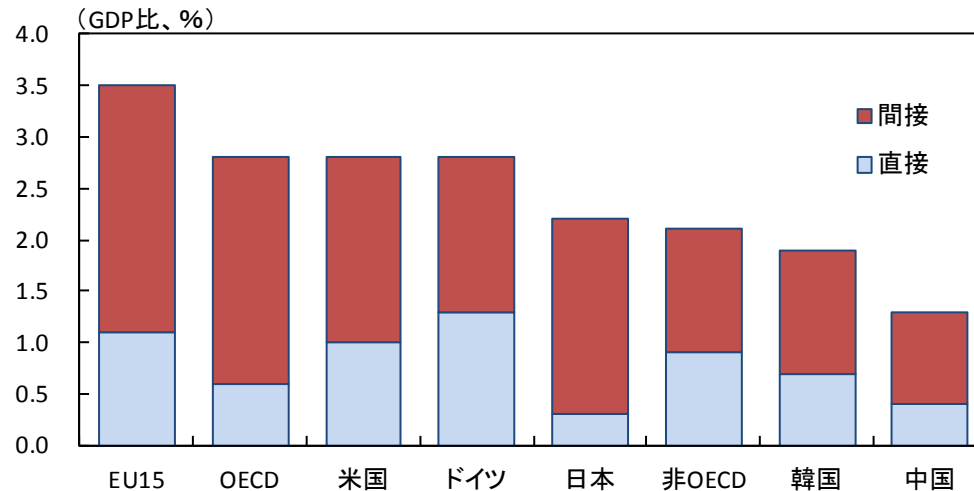


(資料) M. F. Ferracane, J. Kren, E. van der Marel (2018) "The cost of data protectionism," (<https://voxeu.org/article/cost-data-protectionism>)

- ロシア、中国で特にローカリゼーション等の規制が強い。
- データ流通・利用の規制は、サービス貿易や企業の生産性を下押しする可能性もある

データは多くの産業で重要な原料

図： 各国・地域の輸出のうちデジタルサービスの直接・間接の付加価値分

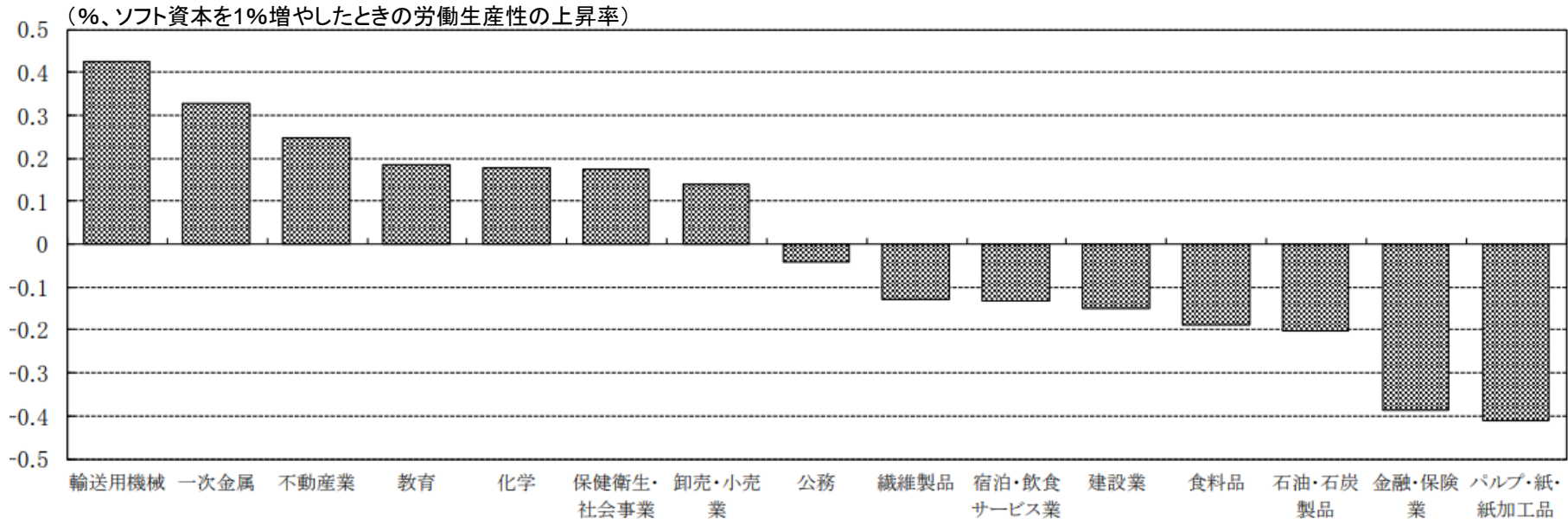


(資料) M. F. Ferracane, J. Kren, E. van der Marel (2018) "The cost of data protectionism," (<https://voxeu.org/article/cost-data-protectionism>)

- データは幅広い産業のインプットとして用いられるため、データの利用規制は生産性、貿易にも影響する

日本のICT活用に余地

図： 日本の主要産業でのソフト投資に対する労働生産性上昇の弾性値



(注)内閣府『国民経済計算』等の1995～2015年のデータを基に推計

(資料)日本経済研究センター(2017)「ICT活用、最優良企業並みなら成長率4%押し上げも一ハードとヒト偏重の経済社会体制からの脱却を」

➤ ICT投資が必ずしも生産性上昇に結びついていない

- 全企業がベストプラクティス並みになれば成長率約4%押し上げも
- ICT投資とあわせて組織・業務体制の改革が必要
- 急速な技術変化に対応した教育・訓練、データの充実も